



耳掃除中の事故にご用心

事例 1

綿棒を耳に入れて遊んでいたところ、ソファで横になったときに奥に入れてしまい、鼓膜に穴が空いた。

(当事者: 2歳 女児)

事例 2

子どもの耳掃除をしていた際、子どもが動いたため耳かきが奥に入ってしまった、耳の中に傷がついた。

(当事者: 4歳 女児)



ひとことアドバイス

- 乳幼児が大人のまねや遊びで耳掃除をして、耳を傷つける事故が起きています。乳幼児の手が届く場所には、耳かき棒や綿棒を放置しないようにしましょう。
- 子どもの耳掃除をする際は、子どもに、動くときがをすおそれがあることをよく理解させ、安定した姿勢・場所で行うことが大切です。
- 耳あかは耳の入り口のほうへ自然に押し出されてきます。耳掃除は、入り口から1センチ以内の見える範囲にとどめましょう。
- 耳掃除によるけがにより、後遺症が残ることもあります。けがをした場合は医療機関を受診しましょう。

